

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12243

第一特別展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		博物館費	
	大事業		博物館事業	
	中事業		第一特別展開催事業	

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	市民等への歴史・文化へ意識の向上を図ること目的と実施することで、入館者増加へのつなげる。		地域に密着したテーマや和歌山に関連するテーマを年度ごとに選び、展覧会を開催することにより、市民等への歴史・文化へ意識の向上を図る。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	平成31年度は「徳川頼宣」をテーマに紀州徳川家の歴史を紹介する。	令和2年度は、「紀三井寺展」を開催し、紀三井寺開創1250年を記念とし、その歴史と文化を展示する。	加太淡嶋神社に関する展覧会を開催する。	茶道の表千家に関する展覧会を開催する。	特別展を開催する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	4,296	4,088	2,875	2,362	3,163	3,064	3,786	0	3,786	0	
伸び率(%)	2.9%	△9.8%	△33.1%	△42.2%	10%	29.7%	19.7%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	3,464	3,464	3,424	5,335	4,887	6,594	3,258	0	3,258	0
	正規職員以外	672	672	984	0	257	514	514	0	514	0
	小計	4,136	4,136	4,408	5,335	5,144	7,108	3,772	0	3,772	0
国庫支出金	1,890	1,758	0	978	983	1,203	1,286	0	1,286	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	850	468	0	346	1,180	447	1,150	0	1,150	0	
一般財源(税等)	1,556	1,862	2,875	1,038	1,000	1,414	1,350	0	1,350	0	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.43	0.43	0.67	0.63	0.85	0.42	0.00	0.42	0.00
	正規職員以外	0.34	0.34	0.35	0.00	0.05	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00
主な予算内訳	印刷製本費1,717千円 展示その他委託料984千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
第一特別展開館日数		日	目標値	32	32	32	32	32
			実績値	32	37	54		
			達成度(%)	100%	115.6%	168.8%	%	%
第一特別展入館者数		人	目標値	2200	2200	2500	2500	2500
			実績値	3527	2864	2588		
			達成度(%)	160.3%	130.2%	103.5%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市の歴史に関する資料を県内外からも集めて展示する事業で、市民文化の向上に資する。
見直し・改善内容	現在の環境で最大限、市民のニーズを反映した展覧会の開催を検討していく必要がある。